



報道関係各位

2007年5月9日
株式会社ウェルビーン
代表取締役 橋本竜也

ウェルビーン、組込向け NAT 越えネットワーク関連ソフトウェア開発のフラクタリストと業務提携

組込みシステムのソフトウェア開発及びハードウェア開発のトータルシステムインテグレーターの株式会社ウェルビーン（本社：横浜市港北区、代表取締役社長：橋本 竜也、以下 ウェルビーン）と、モバイル関連ソリューション提供及びネットワーク関連ソフトウェア開発のフラクタリスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 祐介、以下 フラクタリスト）は、今後ますます市場の拡大が予測されるネットワークを通じた組込み機器連携サービスの市場獲得のため、業務提携を行い、共同でプロモーション活動を行っていくことで合意しました。

このたびの提携で、ウェルビーンがフラクタリストの NAT 越え機能・セキュア通信機能などを中心とした機器連携ソフトウェア「NomadicNode[®]^{※i}」の再販権を持ち、NomadicNode[®]の販売代理を務めます。また、両者で NomadicNode[®]に関連したシステム開発業務を行える体制を構築していきます。

併せてウェルビーンを持つ様々なハードウェアに対しても NomadicNode[®]の搭載を行っていく予定です。特に小型 LAN-シリアル変換デバイス^{※ii}「XPort」への搭載を行うことによる工場・ビルでのリモート監視・遠隔制御システムの実現や、IP-STB^{※iii}への搭載を行うことによるユーザ間でのファイル共有や TV 電話システムの実現といった分野に注力することにより、NGN^{※iv}の普及と併せて需要拡大を見込みます。

また、通信ソフトウェア関連製品開発及び販売後の技術サポートはフラクタリストが、ハードウェア関連製品開発及び関連システム開発業務はウェルビーンが行います。組込み機器メーカー、通信ソフトウェアメーカーなどに対し、ルータやファイアウォールなどの環境に左右されない通信機能を、販売から開発まで一貫したワンストップソリューションで設定フリーかつ安全に提供することで、両者はネットワーク間機器連携サービスの市場を積極的に牽引して参ります。

なお、共同でのプロモーション活動の第1弾として、5月16日～19日に東京国際展示場で開催される「第10回 組込みシステム開発技術展（ESEC2007、主催：リード エグジビション ジャパン）」のウェルビーンブース内（ブース番号 東 39-50）にて展示、デモンストレーション、講演などを行う予定です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ウェルビーン
営業担当／今津、鈴木
電話番号：045-470-3285

株式会社フラクタリスト
営業担当／加藤康宏
広報担当／佐藤、星野
電話番号：050-5524-4150



■ 株式会社ウェルビーン 会社概要

<http://www.wellbean.net/>

本社所在地：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-14-2 ダヴィンチ新横浜 214 8F

設立：1995 年 7 月

代表取締役：橋本竜也

資本金：2700 万円（2007 年 5 月 9 日現在）

従業員数：53 名(2007 年 4 月現在)

事業内容：ソフトウェア・ハードウェアの製品開発及び輸入販売，技術サポート，コンサルティング

組み込み用ミドルウェアの製品開発

組み込み用 OS 及びミドルウェアを含む移植サービス

ソフトウェア開発環境の開発

開発用プラットフォーム，製品用 CPU ボードシステムの設計供給

自社開発製品の販売

■ 株式会社フラクタリスト 会社概要

<http://www.fractalist.jp/>

本社所在地：東京都渋谷区恵比寿 1-21-3 恵比寿 NR ビル 4F

創業：2000 年 6 月

代表取締役：田中祐介

資本金：547,625 千円（2007 年 5 月 9 日現在）

従業員数：52 名(2007 年 4 月現在)

事業内容：モバイル関連事業

NomadicNode 事業（機器連携 I P ソリューション）

※ i : NomadicNode®

株式会社フラクタリストが開発した、NAT・ファイアウォール越え、セキュア通信、機器管理等を行うための機器連携用ソフトウェア。特に AV 家電・工業製品等の組込みシステムと呼ばれる機器群に対して対応できることが特長で、m2m、ユビキタスと呼ばれる様々なサービスへの適応が可能。

※ ii : XPort ・米国 LANTRONIX 社製 LAN-シリアル変換デバイスサーバー

エアコン、センサー、工業機械等のレガシーな機器を LAN 接続するための TCP/IP プロトコルで接続するための装置。NomadicNode®との組合せにより、インターネットへとネットワークを広げられる。

※ iii : IP-STB

IP セットトップボックスの略。インターネットを通じた放送を受信し、TV 等の映像装置に映し出すためのハードウェア。昨今は放送のみでなく、オンラインゲーム、TV 電話等の様々なコンテンツへの対応も行われている。

※ iv : NGN

Next Generation Network の略で、IP ネットワークを利用した次世代ネットワークのことを指す。具体的サービスとして、FMC（Fixed Mobile Convergence）と呼ばれる固定・移動体通信を統合したマルチメディアサービスの実現などが挙げられる。